

## ご挨拶

### 第26回日本産婦人科・新生児血液学会 学術集会会長 増崎 英明



新緑の季節を迎え、日本産婦人科・新生児血液学会の会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、第26回日本産婦人科・新生児血液学会を2016年7月1日（金）、2日（土）の2日間の日程で長崎市に於いて開催いたします。本学会は、研究会からの歴史を数えれば40年近い歴史をもつ学会です。1993年に開催された第3回学会は、長崎大学医学部小児科学教授であった辻芳郎先生が長崎市において開催されています。今回の学術集会は出血や血栓から患者を守るというメインテーマにとどまらず、産婦人科・新生児領域での血液関連の様々な話題を取り上げてみました。

特別講演には長崎大学学長の片峰茂先生に「感染症研究と地域社会」、また長崎大学血液内科教授の宮崎泰司先生に「血液学のなかの再生医療」の講演をいただきます。

ワークショップは①「新生児血液疾患のトピックス」では新生児血液の分野で最新の話題を講演していただきます。また②「母子感染予防に関する最近の話題」というテーマでパルボウイルスB19、風疹、サイトメガロウイルス、HIV、HTLV-1をテーマに取り上げました。

例年のビタミンKフォーラムを今年は東北大学大学院農学研究科准教授の白川仁先生と大阪市立大学大学院医学研究科血管病態制御学講師の塩井淳先生のお二人にお願いすることになりました。

会場は長崎大学医学部構内の良順会館で行います。これはわが国で最初に西洋医学を教授したポンペ・ファン・メルデルフォールト先生に学び、幕末から明治にかけて活躍した医師・松本良順の名を冠したもので、ポンペの最初の講義の日 1857年11月12日を創立の日とする長崎大学医学部の創立150周年を記念して2007年に開館したものです。小さいミュージアムが併設されていますのでぜひご覧ください。

2015年には長崎の軍艦島等が世界遺産に登録されました。この学術集会を機会に多くの皆様に長崎の夏を楽しんでいただければ幸甚です。医局員一同、学会が盛會に滞りなくとり行われるよう、準備に力を尽くしております。日本の西端に位置する長崎での学会にふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。